

## 米国のペットサプリメント市場と注目の関節疾患サプリメント

Anzai & Associates 安西 英雄

### はじめに

米国ではペット用のサプリメントが活況を呈している。日本におけるペットサプリメントの今後を考えるとき、米国の現状は大いに参考になるに違いない。

本稿では米国人とペットの関わり的一端を紹介し、米国におけるペット産業の現状を概観し、さらに米国における代表的なペット用サプリメントの製品を取り上げ、その成功の鍵を検討する。

### 1. 米国人とペット

米国の飼い主が自分のペットに傾ける情熱は格別のものであるらしい。アメリカ動物病院協会が2004年に行った飼い主に対する調査によると、「無人島にたった一人だけ同伴者を連れて行くことが許されるとしたら」という質問に、ペットを飼う人の52%が「ペットを連れてゆく」と答え、「人」を選んだ47%を上回った。また「ペットのために自分の命を危険にさらすことがありうるか」という問には93%が「大いにある」「あるかも知れない」と答えた。「誰があなたの言うことに一番良く耳を傾けてくれるか」という問には「ペット」と答えた人が45%で、「配偶者」の30%を大きく上回った。飼い主の37%がペットを仕事場に連れて行ったことがあり、その半数は月に1回以上ペット同伴で出勤するという<sup>(1)</sup>。まさに溺愛というべきであろう。

### 2. 米国のペットビジネス

米国人のペットへのあふれる愛情を背景に、ペット関連ビジネスは成長著しい。アニマルクリニックはいたるところにあり、ペットのグルーミングを行うサロンやペットスパも増えている。ペットを預かるボーディングケンネルやデイケアセンターも増え、より手近なペットシッターの需要も多い。

ペット関連の大手企業といえばペットスマートやペットコがあげられる。いずれも全米に約800店舗を展開するペット用品専門のスーパーストアチェーンである。バンフィールドやVCAは全米に400-500のクリニックを持つ動物病院チェーンで、これも日本には類を見ないものであろう。

大手企業がペット関連ビジネスに参入する例は枚挙に暇が無い。俳優のポールニューマンのグルメ自然食品会社は、最近オーガニックのペットフードを発売した。グルメステーキ肉のオマハステーキはペット用のステーキやバーガーを販売し、ヘアケア製品で知られるポールミッチェルはペット用の高級シャンプーやおもちゃを、衣料品のオールドネイビーも首輪やおもちゃを、オートバイのハーレーダビッドソンまでがイン用のTシャツや首輪などを販売し始めた。

一方では、パピーミル(子犬工場)と呼ばれる劣悪なブリーダーの存在や、飼い主によるペットへの虐待や遺棄の問題が声高に指摘されているが、米国人のペットへの傾倒はとどまるところを知らないようである。

### 3. 米国のペット関連統計

APPMA（アメリカペット製品製造協会）によるペット飼育の実態調査報告は、米国におけるペットの広がりを経量的に示している。米国の全世帯の63%、6900万世帯が何らかのペットを飼育しており、全世帯の40%（4350万世帯）がイヌを、34%（3770万世帯）がネコを飼育している。飼育頭数はイヌが7,390万頭、ネコが9,050万頭である<sup>(2)</sup>。

一方わが国では、ペットフード工業会の最近の調査によればイヌは1,300万頭、ネコは1,000万頭であるから、米国のほうがはるかにペットの絶対数は多い（図1）<sup>(3)</sup>。同じ人口あたりで比較しても、なお米国人は日本人よりイヌを約2.5倍、ネコを約4倍多く飼育している。

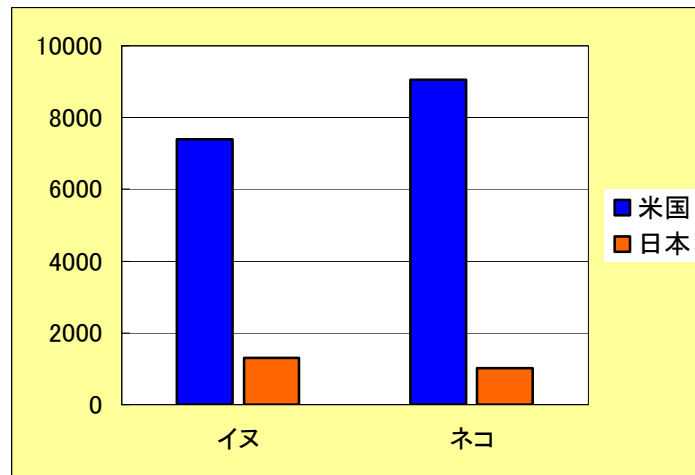


図1 日米のイヌとネコの飼育頭数（単位：万頭）

ペット産業の規模としては、2006年384億ドル（約4兆4000億円）という見通しがある。この数字は過去10年以上毎年数%ずつ堅調に伸張しており、その内訳は表1のとおりである<sup>(2)</sup>。

表1 ペットへの支出の内訳

支出対象	金額(億ドル)
ペットフード	152
獣医師による治療	94
その他の供給物、市販薬	93
動物の購入	18
ペットサービス (グルーミング、ペットホテルなど)	27

ペット用サプリメントについては、2001年の市場規模を3.5億ドル（約400億円）とする報告があり<sup>(4)</sup>、2009年には11億ドル（約1270億円）に達すると言われている。現在はその中間に位置しており、800億円台の規模かと推測される。

### 4. 関節疾患の広まり

NASC（全国動物サプリメント協議会）によれば、ペット用サプリメントの市場の85%という圧倒的な部分を占めるのがいわゆる「関節サプリメント」であり、関節の形成異常や関節炎などに用いられている。これには遺伝と環境の両方が関与している。

遺伝的には、人工的に作り出された胴長体型や大型の犬種においては特に足や腰の関節に負担がかかり、大型犬の75%が腰関節の形成異常をきたしていると言われる。

また環境的には、人の食生活や生活習慣が変化したことの影響を受け、ペットにも肥満が蔓延している。過剰な体重は足や腰に多大な負荷を与え、屋内の滑りやすい床や、舗装された堅い歩道はそれに輪をかけている。

これらの結果、関節の形成異常や関節炎などを生じ、加齢とともに悪化して歩行や運動に支障をきたす例が多い。米国ではイヌの約半数が腰や関節に問題を抱えており、その半数は未治療であると言われる。

## 5. グリコフレックス

関節市場を目指して多くのメーカーが多くの製品を上市しているが、代表的な製品はベトリサイエンス製造のグリコフレックスである。グリコフレックスは獣医師を通じてのみ販売されており、イヌ用、ネコ用、ウマ用がある（写真1）。

市場での評価は高く、獣医師の信頼は厚い。本稿ではイヌ用グリコフレックスを例にとり、その特徴と成功の要因を考察する。

イヌ用グリコフレックスはI、II、IIIの3つの製品からなり、その活性成分はそれぞれ表2のとおりである。

I、II、IIIの順に成分の種類が増え、含量が増える。



（後列左からイヌ用I、III、II、前列はネコ用）

写真1 グリコフレックス

表2 グリコフレックスの活性成分（1粒あたり）

成分名	I	II	III
ミドリイガイ	600 mg	600 mg	600 mg
塩酸グルコサミン	500 mg	750 mg	1,000 mg
塩酸ジメチルグリシン	100 mg	100 mg	100 mg
MSM	—	500 mg	1,000 mg
マンガン	—	10 mg	10 mg
ビタミンC	—	—	30 mg
グレープシードエキス	—	—	5 mg
グルタチオン	—	—	2 mg
セレン	—	—	2 mcg
ビタミンE	—	—	50 IU

各成分の効能は次のとおりである。

### (1)ミドリイガイ

ニュージーランド原産の食用貝ミドリイガイの身をまるごと凍結乾燥し粉末にしたものである。アミノ酸、ポリペプチド、ビタミン、ミネラル、脂肪酸、核酸、グリコサミノグリカンなどの栄養素を豊富に含む。特に関節の軟骨、腱、じん帯、滑液などの結合組織を作るコンドロイチン硫酸など、関節に役

立つ主要なグリコサミノグリカン類をすべて含んでいる。ミドリイガイは関節炎を予防し、また症状を軽減することが認められている。

## (2) 塩酸グルコサミン

グルコサミンはアミノ糖の一種で、ヒアルロン酸などのグリコサミノグリカンを構成する材料となり、腱、じん帯、軟骨、滑液など体の各所に見出される。グルコサミンはグリコサミノグリカンの合成を促進し、関節の柔軟性、衝撃に対する緩衝性、弾力性などを高める。

グルコサミンは直接の抗炎症作用はないが、膝関節症に対して長期的には抗炎症剤のイブプロフェンと同等の症状緩和効果があり、副作用は有意に少なかったという報告がある<sup>(5)</sup>。

## (3) 塩酸ジメチルグリシン(DMG)

DMG は体内に存在するアミノ酸の一種である。多くの代謝に関わりメチル基を供給し、抗酸化剤として働き、免疫調節作用がある。

## (4) メチルスルフォニルメタン(MSM)

MSM は果物、野菜、穀物、動物などに広く含まれるメチルスルホンで、有機イオウの供給源となる。細胞新生に用いられるアミノ酸にイオウを供給し、関節や結合組織の形成を助ける。抗炎症作用や免疫調節作用があるが、作用機序はシクロオキシゲナーゼ阻害作用によるものではないとされる。

## (5) その他の成分

マンガンとビタミン C は、コラーゲンやグリコサミノグリカンの形成において必須の栄養素である。これらの不足は両者の産生不足を招き、関節や結合組織の機能に障害をもたらす。

またグリコフレックス III には、グレープシードエキス、グルタチオン、セレン、ビタミン E などの抗酸化成分が含まれている。これらは炎症や痛みを引き起こす過剰な活性酸素を捕捉し、関節や結合組織を障害から守る。

## 6. グリコフレックスの特徴

グリコフレックスには、他の関節サプリメントには無い次のような特徴があり、それが成功に大きく寄与しているように思われる。

### (1) 3 製品による 3 ステージへの対応

グリコフレックスは I、II、III の順に活性成分が豊かになり、より機能性が高くなる。したがってイヌのライフステージ別に、また症状の重症度別に、きめ細かい適切な対応が可能である(次ページ図 2)。例えば、遺伝的に関節の異常をきたしやすい犬種には若いときから予防的に I を勧め、かなり症状の重度化したイヌには III を勧める、などのように。2・3 種の商品を販売している会社は他にもあるが、その使い分けはこれほど戦略的にはできていない。

### (2) 新規市場の開拓

ステージ別の対応を明確に打ち出したことにより、従来手付かずで放置されていたステージ 1 (予防的投与やごく軽度) やステージ 2 (軽度から中等度) のイヌがケアの対象として獣医にも飼い主にも意識された。すなわち獣医にとって新たな収入源が提示された。

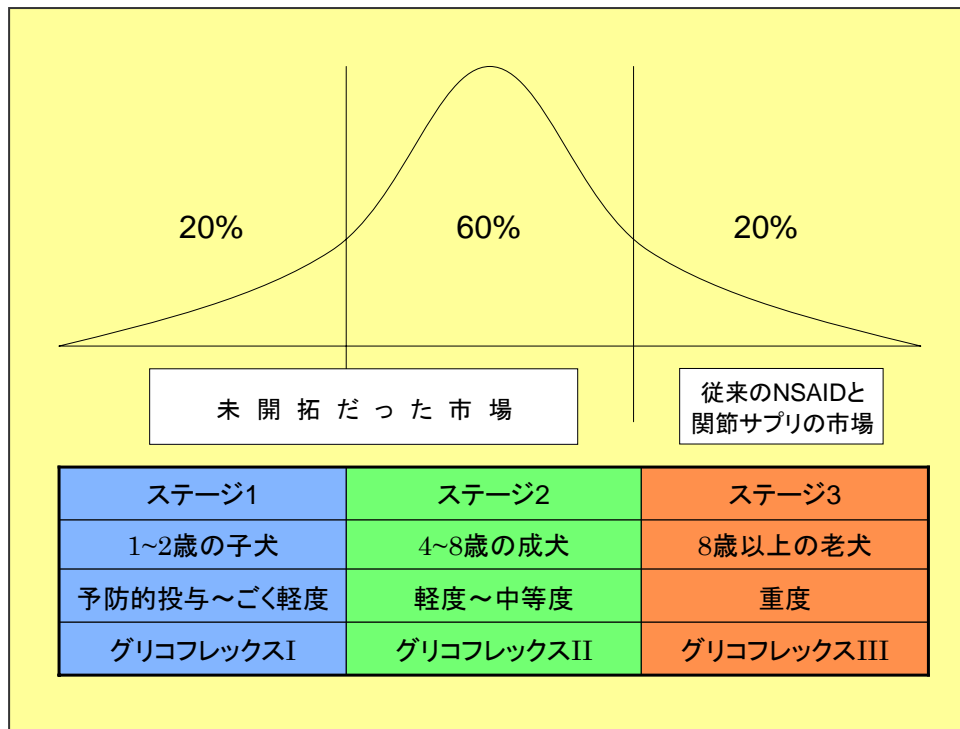


図2 グリコフレックスのステージ区分と投与対象のイヌの分布

### (3)成分含量と経済性

グリコフレックスは他社製品に比較してより多くの活性成分を含み、しかも経済性は引けをとらない。すなわち製品そのものが非常に優れている。

### (4)会社の信頼性

ベトリサイエンスは30年以上の歴史を持つ米国ペットサプリメント市場のリーダーであり、ミドリイガイを初めて米国にサプリメントとして紹介した会社である。さらに、この製品は製薬会社のアボットが販売権を獲得し、米国ではベトリサイエンスのブランドのまま、欧州ではアボットのブランドで独占販売している。

### おわりに

米国のペットサプリメント市場はますます成長を続けており、その中心は関節疾患のサプリメントである。中でもグリコフレックスは、獣医や飼い主の強い要望によりヒト用のグリコフレックスも発売になったほど、市場での評価が高い。品質から製品の位置づけにいたるまで神経が行き届いており、市場の成熟を感じさせる。

わが国のペット市場は、主に住環境の違いにより大型犬が少ないなどの違いはあるが、基本的には時間をかけながら米国と同様の方向に発展してゆく可能性がある。

本稿では立ち入る余裕が無かったが、NASCを代表とする米国のペットサプリメント業界は、ペットサプリメントを法的に正当に位置づけるため、FDAなど規制当局と粘り強い交渉を続けている<sup>(6)</sup>。わが国でもペットサプリメントが健全に成長するためには、業界のこのような努力もまた不可欠であろう。

## 文献

- (1) American Animal Hospital Association. 2004 Pet Owner Survey. [http://www.aahanet.org/About\\_aaha/summery%20of%20results%2004.pdf](http://www.aahanet.org/About_aaha/summery%20of%20results%2004.pdf) April 23, 2006
- (2) American Pet Products Manufacturers Association. Industry Statistics & Trends. [http://www.appma.org/press\\_industrytrends.asp](http://www.appma.org/press_industrytrends.asp) April 23, 2006
- (3) ペットフード工業会. 第12回犬猫飼育率全国調査. <http://www.jppfma.org/shiryo/shiryo-set.html> April 23, 2006
- (4) Nutrition Business Journal. Pet Supplement Market Data Review – Chart 28. <http://store.yahoo.com/nbj/alkdjflasdjf.html> April 23, 2006
- (5) Muller-Fasbender, H, et al.; Glucosamine sulfate compared to ibuprofen in osteoarthritis of the knee. *Osteoarthritis Cartilage*. 2, 61-9 (1994)
- (6) National Animal Supplement Council. Situation Analysis. [http://www.nasc.cc/Situation\\_Analysis.htm](http://www.nasc.cc/Situation_Analysis.htm) April 23, 2006